

特定外来生物 について

特定外来生物とは、外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定され、川越町でも知らず知らずの間に、身近なところに生息しています。

現在、川越町で発見されているのは、「セアカゴケグモ」、「オオキンケイギク」、最近では「アライグマ」も複数目撃されています。町内において、「セアカゴケグモ」に噛まれた事例はありません。また「オオキンケイギク」についても繁殖して他の植物に影響を及ぼしている情報もありますが、「アライグマ」については畑の野菜に数件の被害がありました。

「セアカゴケグモ」



突かれると驚いて死んだまねをするなど、攻撃性もなくおとなしいクモですが、強い毒を持っています。

発見した場合は素手でさわらないようにし、市販の殺虫剤などで駆除、又は踏みつぶして下さい。もし、かまれたら患部をよく水で洗い、近くの医療機関を受診して下さい。

「オオキンケイギク」



特長はこれとあってありませんが、見分ける方法としては、花びらの先が4～5に割れており、6月頃に咲きます。繁殖力が強く、日本固有種を絶滅させる恐れがあり、栽培、保管、運搬、飼育等禁止されています。

発見した場合は、結実前に抜く、刈り取りを行い、種子が拡がらない様にし、一般ごみとして出して下さい。

「アライグマ」



基本的には臆病な動物で、刺激を与えない限り攻撃してくることはほとんどないと言われています。夜行性で水域に近い場所を好み雑食性です。

もし見かけたら、刺激を与えないようにして静かに立ち去るのを待つか距離をとって下さい。

その後、産業開発課までご連絡下さい。なお、許可なく捕獲することはできません。

詳しくは、[環境省 HP](#) または [三重県 HP](#) をご覧下さい。

問い合わせ先

「セアカゴケグモ」・「オオキンケイギク」
「アライグマ」

環境交通課 366-7163

産業開発課 366-7120